

当院救急外来を受診された外国人患者さんの【診療情報】を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

Requests to foreign patients who visited to our emergency department

要求紧急门诊就诊的外国患者

응급실에서 진료를 받은 외국인 환자에 대한 부탁

研究責任者	所属 <u>救急医学</u> 職名 <u>教授</u> 氏名 <u>佐々木淳一 (Junichi Sasaki)</u> 連絡先電話番号 <u>03-3225-1323</u>
実務責任者	所属 <u>救急医学</u> 職名 <u>助教</u> 氏名 <u>上野浩一 (Koichi Ueno)</u> 連絡先電話番号 <u>03-3225-1323</u>

このたび当院では、当院救急外来を受診された外国人患者さんの【診療情報】を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2018 年 1 月 1 日より 2018 年 12 月 31 日までの間に、【救急外来】にて【診療】を受けた外国人の方

2 研究課題名

承認番号 20180085

研究課題名 外国人救急患者の特徴の解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部<<救急医学教室>>・慶應義塾大学病院<<救急科>>

4 本研究の意義、目的、方法

昨今の国際化により本邦には多数の外国人旅行者、在日外国人(在住者、就労者、留学生など)が滞在し、旅行者だけでも 2,400 万人以上(2016 年日本政府観光局)と 2020 年オリンピック・パラリンピックに向けてさらなる増加が見込まれています。特に旅行者の方々は急な疾病で救急受診するケースが多いです。しかし、言語、診療費、生活習慣、医療に対する常識の違いからトラブルになるケースも少なくありません。日本を訪れる外国人の方々が不利益や不便を被ることなく、安心して滞在できる医療環境(特に予想外の救急受診)を提供することは国際化の促進には不可欠な要素であると考えています。

本研究の目的は、国際化に則した救急医療体制構築のために外国人救急受診患者の特徴を解析し、問題点を提示することです。

診療録や医療事務記録から以下の情報を抽出し、統計解析することで外国人救急患者の特徴と傾向を明らかにします。

性別、年齢、来院手段(歩行来院 救急搬送)、国籍、訪日目的(観光、ビジネス、留学、在住)、言語、日本語・英語の理解、保険の有無(日本の健康保険、旅行者保険、自費、労災、交通事故 etc.)、診療費支払い(支払額、当日 or 後日、未払い)、受診理由(外傷 病気)、既往歴や原病、転帰(帰宅 入院 死亡)など。

5 協力をお願いする内容

特別ご協力いただくことはありません。事務記録、診療録を拝見するのみです。

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 6 月 26 日～2022 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【氏名および患者番号および上記本研究の方法に記した内容】のみです。その他の個人情報(詳細な住所、電話番号など)は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【情報】は、個人情報【氏名および患者番号】をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します(名前および患者番号は対象者のリストアップのみに使用し、その後のデータ解析等は匿名化して行います)。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【情報】を結びつける情報(連結情報)は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【情報の利用】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【上野浩一(Koichi Ueno)・救急医学(Emergency Department)・tel. 03-3225-1323 9:00-17:00】

本研究は、一般社団法人 救急振興財団「平成 30 年度 救急に関する調査研究助成事業」からの助成金を受けていますが、本研究に関して開示すべき利益相反事項は一切ございません。

本文書は、以下のサイトで各言語に翻訳が可能です。適宜ご利用ください。

You can translate at the following site.

您可以在以下网站翻译

다음 사이트에서 번역 할 수 있습니다.

Google translation <https://translate.google.co.jp/?hl=ja>

以上